



**インマヌエル中目黒キリスト教会**

**2008年12月14日**

**聖日礼拝**

**メッセージ**

**「神をあがめ、賛美しながら」**

**ルカの福音書2章8節 - 20節**

**竿代 照夫 牧師**

# 聖書朗読

## 旧約聖書

ルカの福音書2章8節 - 20節

- 8 さて、この土地に、羊飼いたちが、  
野宿で夜番をしながら  
羊の群れを見守っていた。
- 9 すると、主の使いが  
彼らのところに来て、  
主の栄光が回りを照らしたので、  
彼らはひどく恐れた。

**10** 御使いは彼らに言った。

「恐れることはありません。今、  
私はこの民全体のための  
すばらしい喜びを  
知らせに来たのです。

**11** きょうダビデの町で、

あなたがたのために、  
救い主がお生まれになりました。  
この方こそ主キリストです。

12 あなたがたは、

布にくるまって飼葉おけに

寝ておられる

みどりごを見つけます。

これが、あなたがたのための  
しるしです。」

13 すると、たちまち、

その御使いといっしょに、

多くの天の軍勢が現われて、

神を賛美して言った。

14 「いと高き所に、栄光が、  
神にあるように。  
地の上に、平和が、  
御心にかなう人々に  
あるように。」

**15** 御使いたちが彼らを離れて  
天に帰ったとき、  
羊飼いたちは互いに話し合った。  
「さあ、ベツレヘムに行って、  
主が私たちに知らせて  
くださったこの出来事を  
見て来よう。」

**16** そして急いで行って、  
マリヤとヨセフと、  
飼葉おけに寝ておられる  
みどりごとを捜し当てた。

**17** それを見たとき、羊飼いたちは、  
この幼子について告げられた  
ことを知らせた。



**18** それを聞いた人たちはみな、  
羊飼いの話したことに驚いた。

**19** しかしマリヤは、  
これらのことをすべて心に納めて、  
思いを巡らしていた。

**20** 羊飼いたちは、見聞きしたことが、  
全部御使いの話のとおり  
だったので、神をあがめ、  
賛美しながら帰って行った。

説教

待降節講壇 (3)

「神をあがめ、賛美しながら」

ルカの福音書2章8節—20節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「羊飼いたちは、  
見聞きしたことが、  
全部御使いの話のとおりだった  
ので、神をあがめ、  
賛美しながら帰って行った。」

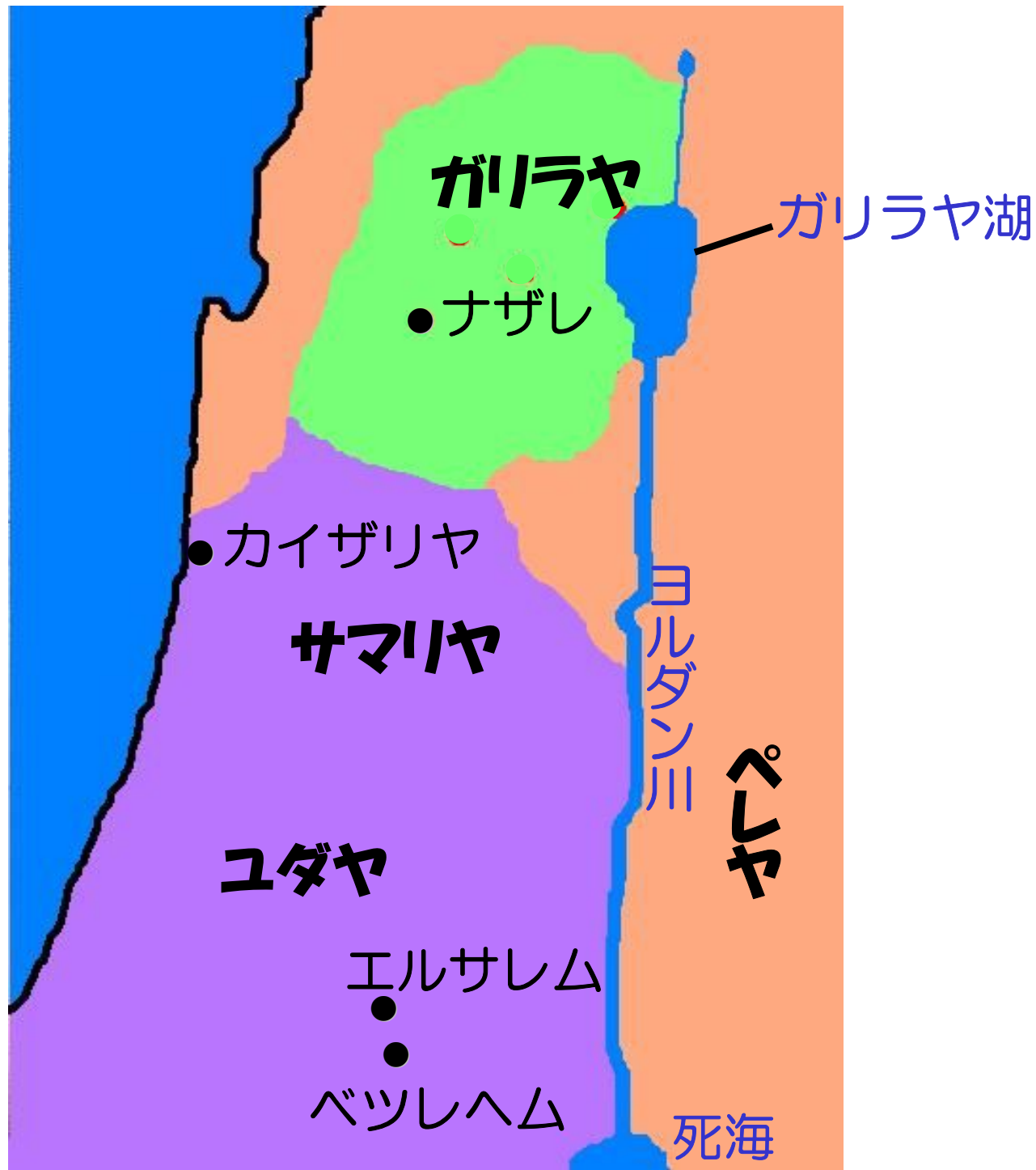
(ルカ2:20)

# A. 待ち望んでいた羊飼い

## 1.

預言されていた「ベツレヘム」

- ベツレヘムの地理（地図参照）
- ミカの預言（ミカ**5:2**）



## 2. 羊飼いだ達の謙りと誇り

- 社会的に低く、  
宗教的にはアウトカースト
- 羊飼いだ少年ダビデの記憶

### 3. 生贄用の羊

- ・ ミグダル・エデル(見張りの塔)の傍の群れは、神殿での生贄用

### 4. メシア待望：

「世の罪をのぞく神の小羊」を待望

B. 羊飼いの知らせ  
(イラスト参照)





# 1. 天使のみ告げ

① 特定の日：今日

② 特定の場所：

ダビデの町(エルサレム)

③ 特定の目的：

民全体の(救いの)ために

④ 特定の人物：キリスト

## 2. 「しるし」は飼葉桶

- ・ 謙りの徴
- ・ 探し易い徴

## C. 羊飼いの喜び

### 1. 「ベツレヘムに行こう」

- ・ 迅速行動を生み出した感動
- ・ 私達の主日礼拝は？

### 2. 聞いたことを告げた

### 3. 喜んで帰宅した

おわりに

1. 神の言葉を学ぼう
2. 私達の状況に適用しよう
3. その成就のゆえに主を  
崇めよう